



# 令和5年度 八戸市民大学講座（後期）



受講申し込み・受講料は不要です

	<p>【第7講義】市公民館（文化ホール）※託児室あり 9月29日（金） 18:30～20:00</p> <p>講師：八戸市美術館館長、 日本大学理工学部建築学科教授</p> <p><b>佐藤 慎也</b></p> <p>演題：～ものから人へ 美術作品と建築の変遷～ 世界の美術館の話</p>	<p>1968年東京都生まれ。1994年日本大学大学院理工学研究科建築学専攻博士前期課程修了。現在は同大学教授。一級建築士。2016年に八戸市新美術館建設工事設計者選定プロポーザル審査委員会副委員長、2017年～2021年同運営検討委員会委員を経て、2021年から八戸市美術館館長を務める。専門は、美術館・劇場など芸術文化施設の建築計画・設計の他、アートプロジェクトの構造設計、ツアー型作品の制作協力、まちなか演劇作品などの会場構成・演出（ドラマトゥルク）を手掛ける。</p>
 <p>©萩庭桂太</p>	<p>【第8講義】市公民館（文化ホール）※託児室あり 10月3日（火） 18:30～20:00</p> <p>講師：映画監督、ノンフィクション作家</p> <p><b>信友 直子</b></p> <p>演題：「認知症が 私たち家族にくれたギフト」</p>	<p>1961年広島県呉市生まれ。東京大学文学部英文科卒業。1986年よりテレビ番組制作の道へ進み、ドキュメンタリー番組の構成・演出を数多く手掛ける。2018年、認知症の母85歳と初の家事に挑み老老介護する父93歳の日常を描いた映画「ぼけますから、よろしくお願いします。」は、ドキュメンタリー映画としては異例の20万人超の大ヒットに。2019年度の文化庁映画賞文化記録映画部門で大賞を受賞。著書「ぼけますから、よろしくお願いします。」「同～おかえり、お母さん～」（新潮社）など。</p>
	<p>【第9講義】市公民館（文化ホール）※託児室あり &lt;男女共同参画意識啓発講演会併催&gt; 10月23日（月） 18:30～20:00</p> <p>講師：弁護士</p> <p><b>菊地 幸夫</b></p> <p>演題：仕事も家庭も一生懸命 ～菊地流ワーク・ライフ・バランス～</p>	<p>1957年東京都生まれ。中央大学法学部卒業。番町法律事務所所属。元司法研修所刑事弁護教官。現在、社会福祉法人練馬区社会福祉事業団理事、公益財団法人日本バレーボール協会監事を務めるほか、日本テレビ「行列のできる相談所」、CBCテレビ「ゴゴスマ」などへ出演。弁護士として民事・刑事・学校・教育問題など広く手掛ける傍ら、体力作りにも勤しみ、地元小学生のバレーボールチームの監督等も務めている。著書「こんなときどうする一夫婦と親子の法律相談」（共著・三協法規出版）など。</p>
	<p>令和5年度 最終講義 【第10講義】公会堂 ※託児室あり &lt;第2回家庭教育研修会併催&gt; 11月16日（木） 修了式：18:15 講演：18:30～20:00</p> <p>講師：落語家</p> <p><b>柳家 花緑</b></p> <p>演題：発達障害は私にとってギフトでした !! ～発達障害落語家誕生～</p>	<p>1971年生まれ東京都出身。中学卒業後、祖父・五代目柳家小さんに入門。前座「九太郎」二ツ目「小緑」、1994年に戦後最年少の22歳で真打昇進「花緑」と改名。着物と座布団の古典落語の伝統を守りつつ、近年は劇作家などの新作落語や都道府県落語を、洋服と椅子の現代スタイルで口演する「同時代落語」にも挑戦。NHK教育テレビの「にほんごであそぼ」で紹介した「寿限無」は子どもたちの間で大ブームとなり、テレビや雑誌への出演の他、障害発達をテーマに全国で講演する。著書『花緑の幸せ入門「笑う門には福来たる」のか？スピリチュアル風味～』（竹書房）、「僕が手に入れた発達障害という止まり木」（幻冬舎）など。</p>

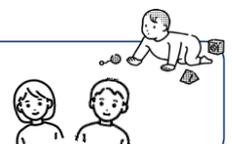
◆開場は、原則、講義開始の1時間前です。 ◆写真撮影・録音は固くお断りいたします。

◆あおもり県民カレッジ単位認定講座です。(1講義あたり2単位)

◆前期と合わせて10講義中6講義以上御出席の方に、修了証書を発行する予定です。御希望の方は、最終第10講義の受付で認定カードを御提出ください。

◎全講義に託児室を設置予定◎

託児室の利用を希望する方は、講義日の1週間前までに社会教育課へお申し込みください。申し込みがない場合、託児室は設置しません。原則、当日は受付しませんので事前に申し込みをお願いします。



【お問い合わせ先】八戸市教育委員会 社会教育課 / 電話 0178 - 43 - 9154